

製品安全データシート

整理番号 160963-000-J002(1)

製造者情報

シントーファイン株式会社

〒533-0004 大阪市東淀川区小松2丁目15番52号

担当部門： 研究開発部

電話番号： 06-6320-6521

問合せ(作成)部門： 研究開発部

電話番号： 06-6320-6521

責任者： 品質保証グループ長

FAX番号： 06-6322-9585

作成者： 桜井 誠

作成・改訂日： 2004/10/28

製品の特定

製品名： シントーグレネードMC

製品説明： 白蟻防除剤(水分散形)

:

物質の特定

| 成分名 | CAS_No | 含有量 | PRTR_No |
|---|-------------|------|---------|
| 5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル(フィプロニル) | 120068-37-3 | 2.0% | 018 |
| (±)-2-メチル-4-オキソ-3-(2-プロピル)-2-シクロヘンテニル(±)-ジス/トランス-クリサンテマト(プロレトリン) | 23031-36-9 | 1.0% | |
| 溶剤 | 登録済 | | |

危険有害性の分類

分類の名称

- ・ その他の有害性物質

危険有害性コメント

- ・ 環境を経由して、人の健康に影響を与える恐れがある物質を含有している。
- ・ このもの自体に引火性はないが、水分が蒸発すると可燃物が残るので火気に注意すること。

応急措置

目に入った場合

- ・ 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 出来るだけ早く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・ 付着物を布にて素速く拭き取る。
- ・ 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・ 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

- ・ 蒸気、ガス、粉塵等を大量に吸込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静にする。呼吸が止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 当該MSDSや容器のラベルを、医師に示して診療を受ける。

飲み込んだ場合

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませないようにする。

火災時の措置

使用可能消火剤

水[-] 炭酸ガス[] 泡[] 粉末[] 乾燥砂[]

消火方法

- ・ 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
- ・ 可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。
- ・ 指定の消火器を使用すること。

漏出時の措置

- ・ 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を使用する。
- ・ 漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をすること。
- ・ 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- ・ スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。水で洗浄等も、河川等への排出で、環境汚染を引き起こす恐れもあるので注意する。

取扱、保管上の注意

取扱上の注意

- ・ 換気の良い場所で取扱う。
- ・ 容器はその都度密栓する。
- ・ 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
- ・ 取扱後は手・顔などをよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。
- ・ 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

保管上の注意

- ・ 日光の直射を避ける。
- ・ 通風の良いところに保管する。

暴露防止措置

設備対策

- ・ 屋内作業の場合は、自動機器等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
 - ・ 密閉場所（タンク内部、室内、床下等）で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。
 - ・ 取扱場所は給排気が充分にとれる設備とすること。
-

暴露防止措置 保護具

呼吸器系の保護

- ・ 有機ガス用防毒マスクを着用する。

目の保護

- ・ 保護メガネを着用する。

皮膚の保護

- ・ 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

製品の物理化学的性質

| | | | |
|-----|----------|-----|--------|
| 状態 | : 粘稠懸濁液体 | 臭気 | : 無臭 |
| 色 | : 類白色 | 蒸気圧 | : 情報なし |
| 沸点 | : 情報なし | PH値 | : 4~8 |
| 密度 | : 情報なし | | |
| その他 | : 特になし | | |

危険性情報

| | | | |
|------|------|-----|------|
| 引火点 | : なし | 発火点 | : なし |
| 爆発限界 | : なし | | |

保管取扱条件(温度・光)

- ・ 常温での反応性ない。

接触混合により危険性のある物質

- ・ 特に情報を有していない。

燃焼などによる有害ガス発生

- ・ 水分蒸発後の熱分解によりNO_x、SO_x、HCl、HF等が発生する恐れがある。

その他の危険性情報

- ・ 通常の条件では安定である。

有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

| 物質名 | 管理濃度 | ACGIH | IARC | 急性毒性 | |
|--|------|-------|------|-----------|------------|
| 5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル(フイロニル) | | | | 経口LD50ラット | 92(mg/kg) |
| (±)-2-メチル-4-オキソ-3-(2-プロピル)-2-シクロペンテニル(±)-シス/トランス-クリサンテマト(プロレトリン) | | | | 経口LD50ラット | 460(mg/kg) |

溶剤

組成物質に関するその他の有害性情報

- ・ 特に情報を有していない。

製品に関する有害性情報

- ・ 急性経口毒性LD50ラット 5000(mg/kg) <
- ・ 急性経皮毒性LD50ラット 2000(mg/kg) <
- ・ ウサギの眼に対し軽度の刺激性がある。
- ・ ウサギの皮膚に対して刺激性がない。

環境影響情報

- ・ 漏洩した時や廃棄の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱には注意をすること。
- ・ 容器、機器などの洗浄水をそのまま排水溝へ流さないこと。

魚毒性

- ・ LC50- 96(Hr)- 1.9(ppm)-コイ
 - ・ LC50- 24(Hr)- 15(ppm)-オミジノコ
-

廃棄上の注意

- ・ 使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。
 - ・ 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 - ・ 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
-

輸送上の注意

- ・ 共通：取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
 - ・ 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
 - ・ 海上輸送：船舶安全法の定めるところに従うこと。
 - ・ 航空輸送：航空法の定めるところに従うこと。
 - ・ 国連番号：-
-

主な適用法令

- ・ 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律
 - ・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：第2種監視化学物質 292
 - ・ 水質汚濁防止法：施行令第2条 有害物質
 - ・ 廃棄物処理及び清掃に関する法律：特別管理産業廃棄物
 - ・ 水道法：第4条第2項 水質基準の省令
 - ・ 下水道法：施行令第9条の4 水質基準物質
-

その他**主な引用文献**

- ・ 溶剤ハンドブック
 - ・ 産業中毒便覧
 - ・ 化学商品（化学工業日報社）
-

[注意]

- ・ 注意 記載内容は現時点で入手できる資料・データに基づき作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。また注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえご利用下さい。
-